

令和 6 年度

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	カンガルー療育支援室 川崎ステーション		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・地域との交流の場が少しずつ増えていて、東急電鉄さんや子ども文化センターとのイベントを行ったり、リズムフェスに参加したりと今年度は活発に動けた。	・積極的にさまざまな分野の事業所と連絡をとり、事業所としてどのような取り組みができるか打ち合わせをし、イベントなどを企画していくことはできていた。	・今後もたくさんの体験や経験できる場をつくれるようにさまざまな方とつながりを大切に、連携を図りながら、交流などができるように取り組んでいく。
2	・通所を楽しみにしていただいていることや利用者様とのコミュニケーションがしっかりとれていること。	・ご家庭にはなれないがそれにできるだけ近づけるような雰囲気作りや好きな過ごし方が選択でき、楽しめるような支援を心掛けている。また、普段の様子を直接お話しで伝えることもあれば連絡帳で当日の様子などをお伝えしたり、SNSを活用し、様子を写真で見えていただいたりしている。	・今後はSNSの活用方法や頻度なども需要があれば変えていくなどを検討する。また、好きな遊びの幅が増え、遊びのレパートリーがたくさんある中で好きな過ごし方を選ぶように支援していく。
3	・支援に対する評価をいただき、普段からイベントや同じような支援にならないように工夫している。	・月案・週案を作成し、毎月・毎週同じものにならないように変化を作りつつも、無理のないような支援内容を心掛けている。	・研修や会議などに積極的に参加することで他の事業所とつながり、情報交換を行うことで、カンガルーでの支援もバリエーションを増やしていき、より充実していただけるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースにかぎりがあること	・収納スペースをうまく活用し、玩具などを収納できるようにすることが課題と感じる	・収納スペースを作りつつ、常に日ごろから整理整頓を行うことを徹底する。また導線の確保など日頃から意識的に支援を行うことで限られた中でも効率的な支援ができるように配慮していく。
2	・保護者・兄弟などの交流の機会の開催	・営業再開後、時間が短く、開催まで到達することができなかった。また保護者が求めているものを把握しきれしていない部分もあるため今後改善していく必要がある。	・保護者とのコミュニケーションでお子様の様子や活動の話以外にも、今何に困っているのか?など求めているものを確認し、そういった話題を開催した会で解決方法やアイデアを共有し、またつながりができることで安心できる要素になればと考える。
3	・外部との交流を行った際に報告などを発信できていない。また利用者様にしっかりと周知できていない	・インスタグラムのみで発信を行っているが、保護者のアンケートからわかるように、発信力がまだ足りない。	・インスタグラム以外でも保護者、また利用されていない方にも周知できるような、配信方法を模索していく。また連絡帳でのやり取りでも細かく記載、LINEでも写真の送信などで見てもらえるような取り組みが必要。